

諸外国の小型航空機の安全対策の状況

～欧米でのGeneral Aviation (GA) に対する安全対策～

米国

事故の未然防止のためのリスクベースの対策を推進する戦略として**Compliance Philosophy**を策定し、個人が自身でエラーを開示するよう促し、安全情報を広範囲に高い透明性で交換していくという**Just culture**を促進。2009-2018で10%を超える重大事故の削減を目標に、以下の施策を実施。

産業界との連携

GA Joint Steering Committeeを設置。以下の取組を推進

- ・操縦不能(Loss of Control)対策の検討(AOA (Angle Of Attack: 迎角指示器)の装備時の承認手順の合理化 等)
- ・運航データベース(飛行データ、自発的報告、製造者報告に加え、スマートデバイスからの報告等も情報源)を構築し、リスクを識別。FDR(Flight Data Recorder: 飛行記録装置)等による飛行データを積極的に出してもらうよう促している。

新技術の活用促進

- ・安全に資する新たな機器の紹介
(例)AOA、EGPWS(Enhanced Ground Proximity Warning System: 対地接近警報装置)、エアバック付シートベルト、機体用パラシュート、操縦室での天候の表示、等
- ・気象データリンクや着氷の予想回避等に係る機器の役割の明確化
- ・レーダー範囲外でも交通状況を確認できるよう、機体から自動で位置を発信する装置(ADS-B(Automatic Dependent Surveillance-Broadcast) OUT)の義務化

教育

- ・操縦不能対策用の教育の促進キャンペーン(SNSも活用)
- ・教材等のWEB配信、操縦教官団体と協力した教官訓練の改善
(例)新技術、事例、個人で行うリスク管理(Single Pilot Resource Management)の紹介

基準の見直し

- ・実地試験内容の合理化、タスクに応じた知識やリスク管理の要素の追加
- ・パフォーマンス/リスクベースの基準の設定。操縦不能対策や着氷に係る耐空性基準の追加

諸外国の小型航空機の安全対策の状況

～欧米でのGeneral Aviation (GA) に対する安全対策～

欧州

欧州では、GA Road MapというGAの規制に係るロードマップを作成し、GAに係る規制の見直しとともに、安全リスクに対処するための安全のプロモーションを推進している。

産業界との連携

European General Aviation Safety Team (EGAST)を設置。以下の取組を推進

- ・GAの現状等について、データの収集と解析
- ・安全プロモーションとベストプラクティスの共有
(例) 衝突防止、操縦士の状況判断、天候の予測、高地での飛行、ピストンエンジンのアイシング、バードストライク、先端の航法装置、ストール、情報提供サービスの現状

基準の見直し

GAに係る基準について、簡易、簡素かつ優れたものになるよう検討を実施中。

現在は、以下の6つの基準についてGAに特化したものを検討することを目標と定め、取組を推進

- ・IFR rating取得のための基準
- ・認定訓練組織外の組織での訓練
- ・簡易な整備の基準 (Part M lite)
- ・設計認定事業場 (Design Organisations Approvals) 以外の組織での修理改造 (CS-STAN)
- ・LSA (Light Sports Aircraft) 向けの基準
- ・耐空性基準 (CS-23) に民間規格 (ASTM ASD等) の活用